

# secuon

ハンディサーマルカメラ

## TC150

# 取扱説明書



ご使用前に、正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。必要に応じてダウンロードをして保管下さい。

最終更新:2020年7月1日

## 目次

付属品.....	- 4 -
仕様 .....	- 5 -
各部名称 .....	- 6 -
画面説明 .....	- 7 -
1:カメラの準備について.....	- 8 -
1-1: microSD カードの接続について.....	- 8 -
1-2: 充電について .....	- 8 -
1-3: 電源のオンオフについて.....	- 9 -
1-4: 時間設定について.....	- 10 -
1-5: 温度設定単位について.....	- 10 -
1-6: アラート設定について .....	- 11 -
1-7: 温度補正について.....	- 11 -
1-8: モード設定について.....	- 12 -
1-9: フラッシュライトについて.....	- 13 -
2:カメラ運用について .....	- 13 -
2-1: 体温測定について.....	- 13 -
2-2: アラート通知について .....	- 13 -
2-3: 測定画像の保存について .....	- 14 -
2-4: 保存した画像の確認について.....	- 14 -
3: 各種設定について .....	- 15 -
4: FAQ .....	- 16 -

## 注意事項 ～必ずご確認ください～

---

- 最適な測定距離は 1m となります。
- 測定精度を保つために 15～30℃、湿度 85%RH 以下(結露しない環境)の環境で  
ご使用下さい。
- 屋内でご利用下さい。
- ご使用環境が変わる場合は、製品の電源を入れて、測定する前に 10～15 分程度  
ウォーミングアップしてからご使用下さい。
- ご使用環境は周辺温度が安定している必要があります。換気扇やエアコンなど、  
風量が特に多い場所では測定精度が低くなる場合があります。
- 温度補正が必要な場合は設定画面より変更して下さい。
- 製品には自己校正機能があります。測定数値が安定しない場合は、少し時間を空  
けて再度測定して下さい。
- 特に高温や低温のものを測定した場合は、次の測定まで約 10 分放置して下さい。
- 直射日光が当たる場所や、電磁波が強い場所では使用しないで下さい。
- 測定精度を保つために、本製品を長時間使用していない場合は、測定を開始する  
前に 10～15 分間ウォーミングアップして下さい。
- 体温の測定には若干の誤差があります。
- 本製品は医療用体温計ではありませんので、簡易チェックとしてご利用下さい。

## 付属品

---

- ・カメラ本体 1台
- ・電源アダプタ 1個(DC5V)
- ・microSD カード(16GB) 1枚

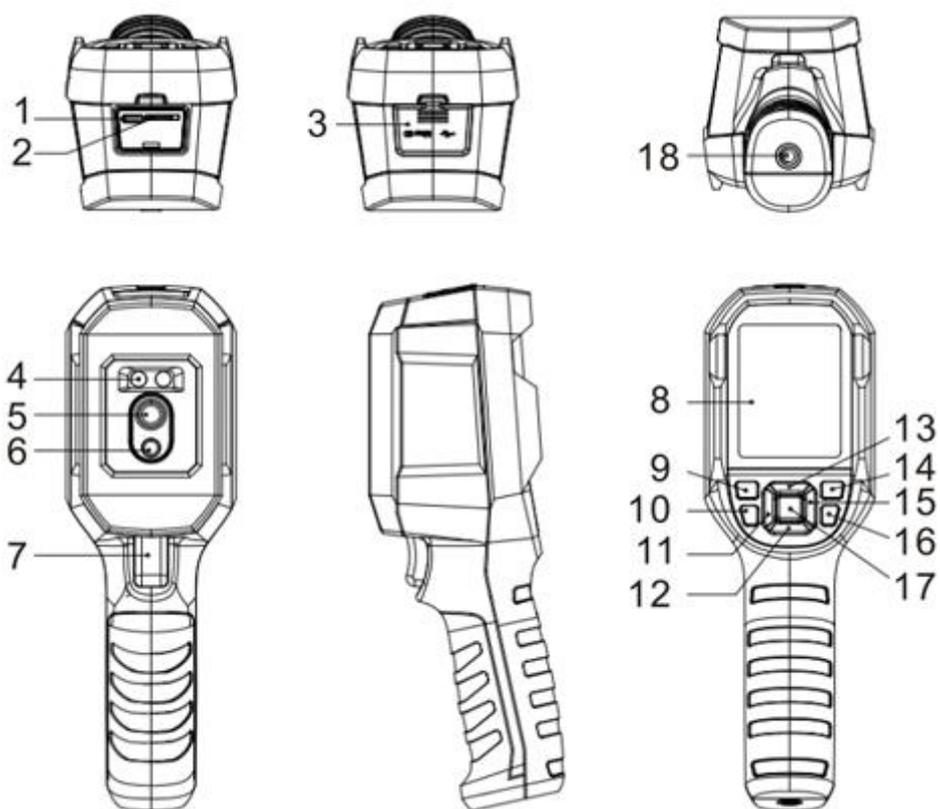
※付属品の外観などは予告なく変更する場合がございます。

※取扱説明書は付属しておりません。

## 仕様

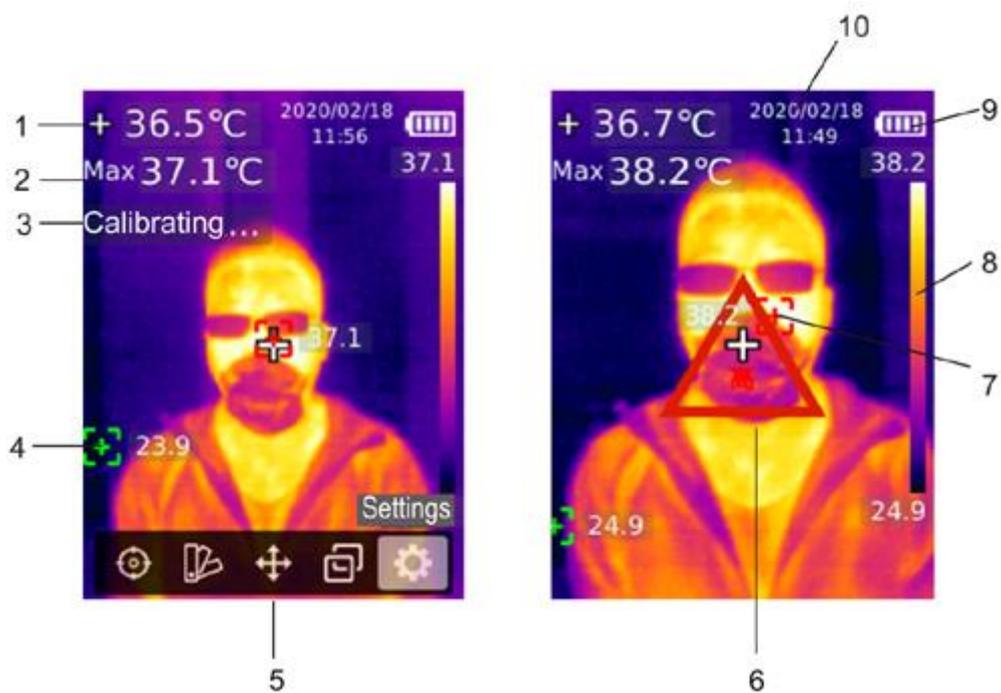
温度測定範囲	30～45℃
制度	±0.5℃(1m)
最小測定距離	15cm
赤外線解像度	19200 (160×120)
測定アングル	水平 56 度／垂直 42 度
microSD カード機能	あり(保存形式 BMP)／16GB 付属
画像表示モード	サーマルモード／デジタルカメラモード／融合モード(サーマル＋デジタル)
ディスプレイ	2.8 インチ
バッテリー	Li-ion 3.7V/5000mAh 26650 battery
充電時間／稼働時間	約 5 時間／約 6 時間
電源	電源アダプタ 5V2A Type-C USB
三脚ネジ穴	あり ※三脚は付属していません。
サイズ	236mm x 75.5mm x 86mm (H×W×D)

## 各部名称



1 : USB 端子 (Type-C)	10 : フラッシュライトボタン
2 : microSD カード挿入口	11 : カーソルボタン左
3 : カバー	12 : カーソルボタン下
4 : LED ライト	13 : カーソルボタン上
5 : 赤外線レンズ	14 : 再生ボタン
6 : カメラレンズ	15 : カーソルボタン右
7 : トリガー	16 : 戻るボタン
8 : ディスプレイ	17 : SET ボタン
9 : 電源ボタン	18 : 三脚ネジ穴

## 画面説明



1 : 中心温度	6 : 高温の警告サイン
2 : 最高温度	7 : 最高温度ポイント
3 : 自己校正	8 : 温度メモリ
4 : 最低温度ポイント	9 : バッテリー残容量
5 : メニュー	10 : 日時表示

# 1:カメラの準備について

---

## 1-1: microSD カードの接続について

電源が切れている状態で、画面の上部にあるカバーを空けて、microSD カードを接続します。挿入するときは向きに気をつけて下さい。

※microSD カードの文字が書いてある面は、画面とは反対側となります。



## 1-2: 充電について

画面の上部にあるカバーを空けて、USB 端子に付属の USB コードを接続して、コンセント側を家庭用コンセントに接続すると充電を開始します。



### 1-3: 電源のオンオフについて

電源ボタンを約 3 秒長押ししていただくと画面が表示されます。

電源を切る場合にも約 3 秒長押しして下さい。



#### 1-4: 時間設定について

SET ボタンを押して、左右のカーソルボタンで「Settings (歯車アイコン)」にカーソルを合わせて、もう一度 SET ボタンを押して下さい。

上下のカーソルボタンで「Date and Time」にカーソルを合わせて、SET ボタンを押して下さい。



青色は選択状態で、SET ボタンを押すと青色→赤色に変わって変更ができます。

変更は上下のカーソルボタンで行って下さい。

設定後は、戻るボタン、または再生ボタンで戻って下さい。

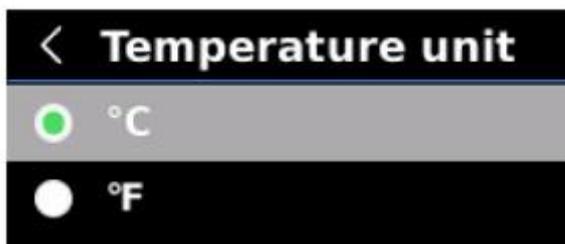
#### 1-5: 温度設定単位について

温度の単位が設定可能です。

初期設定は° C セルシウス度(摂氏)になっております。

° C セルシウス度(摂氏) / ° F ファーレンハイト度(華氏)

変更される場合は「Settings (歯車アイコン)」→「Temperature unit」から変更ができます。



### 1-6:アラート設定について

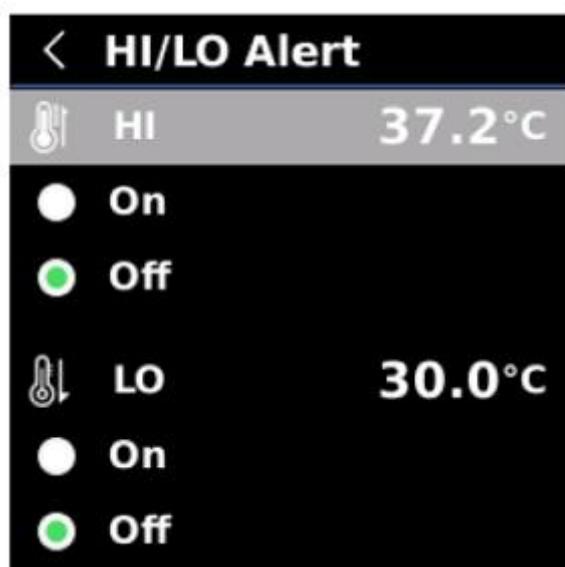
最高温度と最低温度の設定が可能です。

初期設定では最高温度が 37.2°Cで、最低温度が 30.0°Cに設定してあります。

「変更方法」

SET ボタンを押して、左右のカーソルボタンで「Settings (歯車アイコン)」にカーソルを合わせて、もう一度 SET ボタンを押して下さい。

上下のカーソルボタンで「HI/LO Alert」にカーソルを合わせて、SET ボタンを押して下さい。



「温度設定」

SET ボタンを押すと赤字に切り替わって、上下のカーソルボタンで変更が可能です。

「オンオフについて」

On/Off の選択は、緑色のチェックが付いている状態が選択の状態となります。

設定後は、戻るボタン、または再生ボタンで戻して下さい。

### 1-7:温度補正について

温度補正を行うことができます。

変更される場合は「Settings (歯車アイコン)」→「Measurements」から変更ができます。

Emissivity→放射率

Temp comp (Temperature compensation)→温度補正

## 1-8:モード設定について

SET ボタンを押すと画面の下側にメニュー画面が表示されます。

### 測定 (Measurement)



測定ポイントの設定が可能です。

用途に応じて設定を変更して下さい。

Center spot: 画面の中心に+マークが表示されて、その部分の温度を測定します。

HiLo spot: 画面のなかで、最高温度と最低温度を測定して表示します。

ROI (Region of interest): 領域内の温度を測定します。

※Center spot と HiLo spot は併用が可能です。

### パレット (Palette)



温度の違いによって表示する色合いを7種類のなかから選択できます。

見やすいものをご選択下さい。

### ポイント温度 (Point temperature)

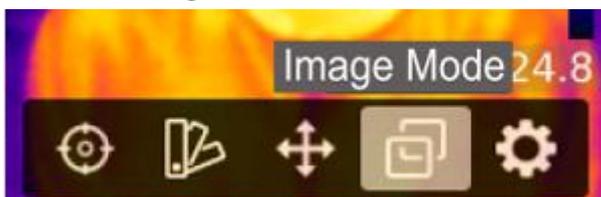


温度の測定ポイントを3箇所設定することができます。

設定したポイントの温度を測定します。

測定ポイントは画面内の好きな場所に移動することができます。

## 画像モード (Image mode)



画面に表示するモードを3つから選択できます。

Thermal (サーモグラフィ)

Digital (通常のカメラ映像)

Fusion (サーモグラフィ+通常のカメラ映像)

### 1-9:フラッシュライトについて

カメラレンズの上にあるフラッシュライトは、アラート通知と同時に点滅します。  
また、フラッシュライトボタンを3秒長押しすると、ライトのオンオフが可能です。  
※ライトをオフにしても、アラート通知と同時に点滅します。

## 2:カメラ運用について

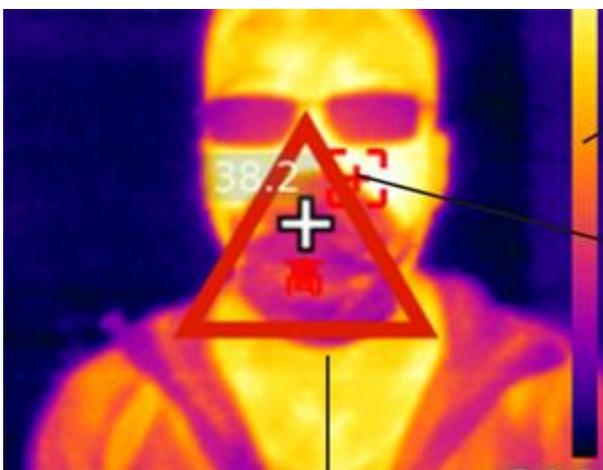
---

### 2-1:体温測定について

被写体の1mぐらい前に立って、画面内の測定ポイントを測定したい場所へ合わせます。  
画面内に測定温度が表示されます。

### 2-2:アラート通知について

設定した温度以上を検知した場合は画面上に赤い三角マークが表示されます。  
設定温度の変更は11ページをご確認ください。



## 2-3: 測定画像の保存について

測定した状態を保存したい場合は、トリガーを引くと画面が撮影されます。

撮影した画像を保存する場合にチェックにカーソルを合わせて、保存しない場合はバツにカーソルを合わせて SET ボタンを押して下さい。

※自動撮影を設定している場合はトリガーを引いたと同時に保存されます。15 ページ参照



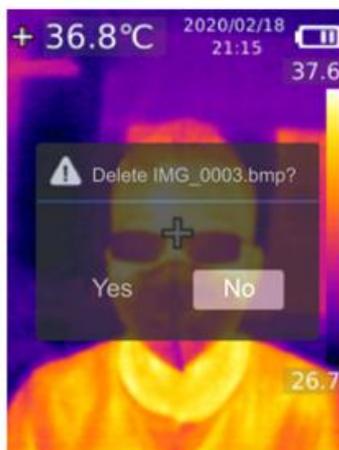
## 2-4: 保存した画像の確認について

再生ボタンを押すと microSD 内の保存した画像へアクセスができます

上下左右のカーソルボタンでファイルを選択して、SET ボタンで画像を表示します。

もう一度 SET ボタンを押すと「Information」と「Delete」が選択できまして、

「Information」内には撮影時の情報が入っておりまして、「Delete」は画像を削除します。



### 3: 各種設定について

---



言語設定 (Language) : 英語または中国語の選択のみとなります。

日時設定 (Date and Time) : 日時設定ができます。

温度単位 (Temperature unit) : 温度単位が設定可能です。

アラート (HI/LO Alert) : アラート温度の設定が可能です。

測定 (Measurements) : 温度補正が可能です。

画面の明るさ設定 (Display brightness) : 画面の明るさが 3 段階より選択できます。

自動シャットダウン (Auto power off) : 無操作の場合に電源が切れるまでの時間を設定できます。

USB モード (USB mode) : パソコンとカメラを USB 接続したときのモードを選択できます。

自動撮影 (Auto save) : トリガーを引くと保存の確認を行わずに microSD カードへ保存されます。

システム設定 (System settings) : 3 つのメニューが表示されます。

→Device Information: カメラのバージョン情報が表示されます。

→Factory reset: 工場出荷状態に戻ります。

→Format sdcard: microSD カードを初期化します。

## 4: FAQ

---

準備中